

みんなの知りたい！ なんでも Q&A

長谷川学芸員



今週のテーマは

おえ 失われた地名・麻植

文：徳島県立博物館・長谷川賢二学芸員
絵・デザイン：徳島新聞写真美術部・大塚吉雄

市町村合併前、徳島県にはたくさん町村があったんだ。今の吉野川市や美馬市も、細かく分かれていたんだよ。その地方の名前の中に麻植という変わった名前があるんだ。ここは、どういう場所だったんだろうね。

Q.麻植のなごりは、どこに残っていますか？

A. 郡の名前という、目立った地名ではないけれど、吉野川市には、「西麻植」や「麻植塚」という地名があるよ。また、「麻植」という姓の人もあるよ。もともとは地名由来するんだろうね。身近に「麻植さん」がいないか探してみるのもいいかもしれないね。



江戸期に描かれた阿波国絵図。赤い線の部分が麻植郡地域になる。(県立博物館蔵)

Q.麻植って、どのあたりの地名なんですか？

A. 麻植郡は、吉野川の中流南岸、今の吉野川市にあたるんだ。吉野川市は麻植郡の四つの町村（鴨島町・川島町・山川町・美郷村）が合併してできたんだよ。1973年までは今の美馬市木屋平地区も麻植郡だったから、吉野川から剣山まで広がる、とても大きな郡だったんだ。

昔の徳島県の地図では麻植郡は広い地域だったんだね。

Q.麻植という地名は、いつからあった地名なんですか？

A. 「麻植」は、古代・中世には「麻殖」と書き、江戸時代に「麻植」になったんだ。徳島市観音寺遺跡から発見された「麻殖評（おえのこおり）」と書かれた7世紀終わり頃の本簡が、いちばん古い記録だよ。奈良の平城宮跡で出土した本簡、正倉院の宝物、歴史書など、8世紀以降の資料には、「麻殖郡」と書かれているものがたくさんあるんだ。



正倉院宝物の本簡（複製）の墨書。麻殖郡から税として納められた布であることが分かる。(県立博物館蔵)

Q.どうして「おえ」と呼ぶようになったのですか？

A. 『古語拾遺』（こごしゅうい）という資料に、麻殖の名前の由来が書かれているんだ。この資料は9世紀のはじめ、忌部氏（いんべし）という一族に伝わった神話などがまとめられたものだよ。忌部氏に仕える阿波忌部という集団がいて、彼らがコウゾや麻を植えて、糸や織物を作ったから「麻殖」という地名ができたというんだ。「麻殖」を「おえ」と読んだのは、麻やその繊維で作った糸を「お」と呼び、麻（お）を殖（う）えることから、「おえ」になったと思うよ。これが本当かどうかは分からないけれど、神話につながる地名だと思うと、ロマンがあるよね。

古語拾遺（複製）
(県立博物館蔵)



『古語拾遺』のうち、麻殖郡の名称の起源が書かれている部分



阿波忌部の本拠地だった古代の忌部郷に相当すると思われる一帯（吉野川市山川町）